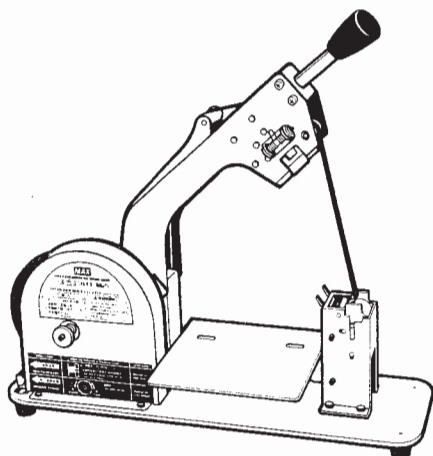


マックス野菜結束機

おひまる

《HT-M2》

取扱説明書



⚠ 警告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 使用前に必ず正常に作動するか確認する。正常に作動しない場合は絶対に使用しない。
- 指定の消耗品を必ず使用する。
- ギアカバーの中に指を絶対に入れない。
- アームユニットL・Rとサポート板ユニットの間に手を絶対に入れない。
- アームユニット頭部とスタンドユニット上部の間に手を絶対に入れない。
- アームユニット頭部に指を絶対に入れない。
- 本機を絶対に改造しない。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。

- この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
- 本機の仕様は機能向上ため、予告なしに変更することがあります。

MAX®

このたびは、マックス野菜結束機おびまる〈HT-M2〉をお買い上げいただきましてありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

⚠ 警告：この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。

⚠ 注意：この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が損傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

また、取扱いを誤った場合には、機械本来の性能を発揮しないばかりでなく本機の損傷につながる事が想定される場合を表しています。

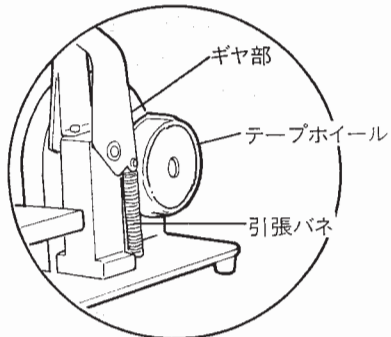
目 次

1. 各部の名称	1
2. 安全作業のために	2
3. 仕様、付属品及び別売品	5
4. 組立手順	6
5. ご使用の前に	7
6. 使用方法	9
7. ギザ刃の交換	14
8. 性能を維持するために	15
9. 分解見取図・部品表	16

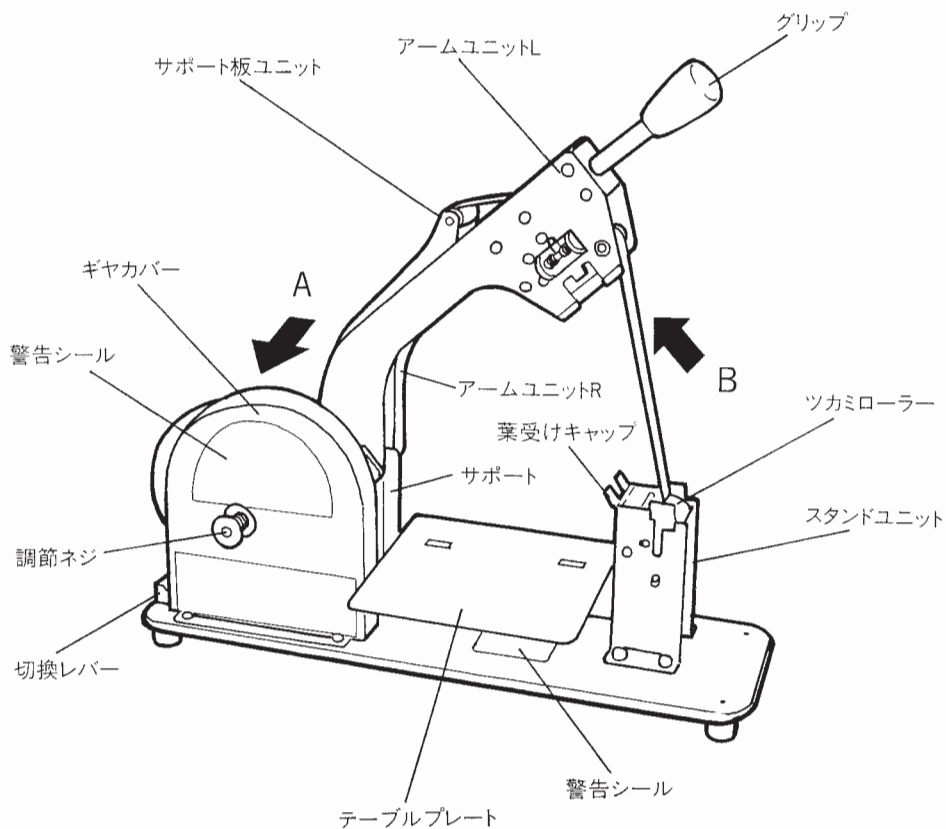
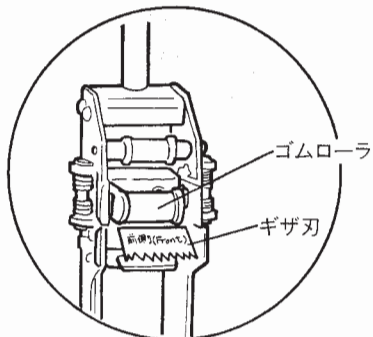
全国販売拠点、サービス拠点一覧

各部の名称

A 機械右後方



B アームユニット頭部



本機は、野菜、花卉等をテープで結束する事を目的とした機械です。指定以外の用途、使用法は重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。又、本機に触らせないでください。

作業前

①組立は、必ず説明書通りの手順で行う。

(6ページ参照)

②安定した台に必ず設置する。

本機を設置する作業台の安定が悪いと倒れたりして危険ですので、安定した台を使用してください。

③作業環境に応じた服を必ず着用する。

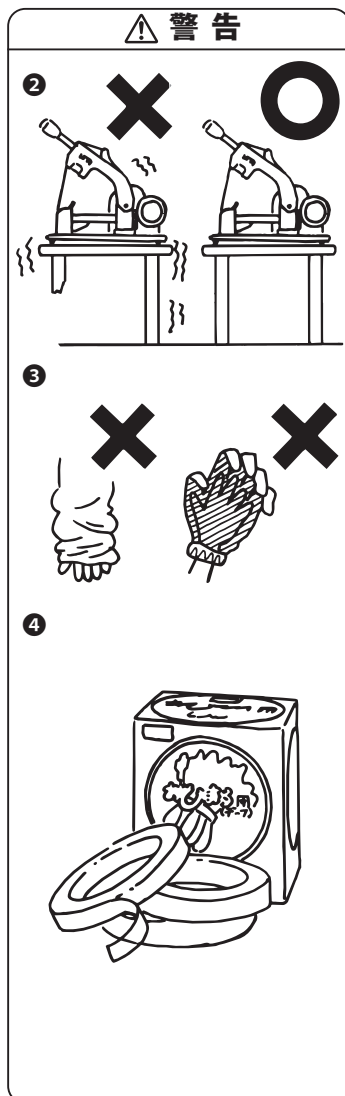
作業のじゃまになったり、機械にはさまれたりすることのないような服、手袋等を着用してください。

④指定の消耗品を必ず使用する。

指定されたテープと異なるものを使用すると本機の故障や事故の原因となりますので、必ず指定のテープをご使用ください。(5ページ参照)

⑤使用前に必ず正常に作動するか確認する。正常に作動しない場合は絶対に使用しない。

使用前にタオルなどで本機が正常に作動するか確認してください。正常に作動しなかったり、結束できない場合は、お買い求めの販売店又はマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)に点検・修理に出してください。



作業中

①ギヤカバーの中に絶対に指を入れない。

②アームユニットL・Rとサポート板ユニットの間に絶対に手を入れない。

③アームユニット頭部とスタンドユニット上部の間に絶対に手を入れない。

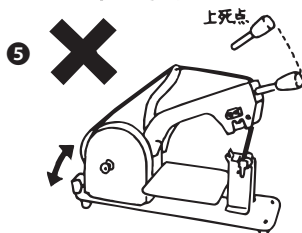
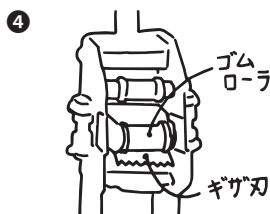
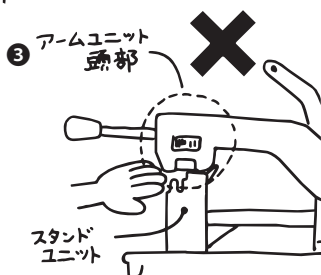
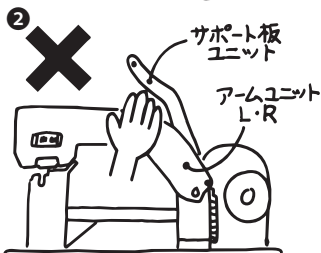
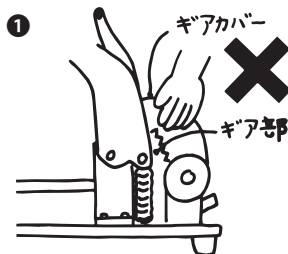
④アームユニット頭部に指を絶対に入れない。

アームユニット頭部のゴムローラの裏にはギザ刃があり危険ですので、指を絶対に入れたり、押し当てたりしないでください。

⑤結束中にグリップを完全にもどさないで切換レバーを上下させない。

本機に無理が生じ、締付力不足の原因や故障の原因となります。

⚠ 警告

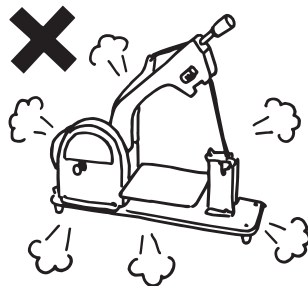


⑥異常を感じたら絶対に使用しない。

作業中に本機の調子が悪かったり異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスエンジニアリング&サービスファクトリー㈱に点検・修理に出してください。

⚠ 警告

⑥

**作業後****①本機を必ず清掃する。**

本機の性能を維持するため、「8.性能を維持するために」の注油の項の手順に従って、時々注油してください。尚、使用される油につきましては、食品機械用油をご使用ください。

②本機を絶対に改造しない。

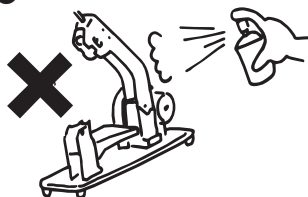
本機を改造すると、本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に行わないでください。

③ギザ刃の交換には必ずヤットコを使用する。

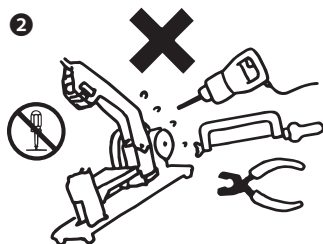
交換についてはヤットコを使用し、十分に注意をして行なってください。

⚠ 警告

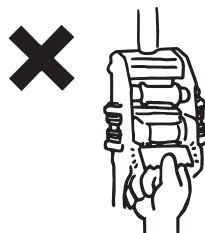
①



②



③



商 品 名	マックス野菜結束機おびまる HT-M2
商 品 記 号	HT-M2
寸 法	長さ457×巾150×高さ460mm
質 量	7kg
使用テープ巾	12mm、15mm、20mm、24mm、30mm
使用テープ	TP-129、TP-159、TP-209、TP-249（特注）TP-309（特注）
結 束 範 囲	高さ140×長さ170mm（最大） テーブル及びテーブルプレートにて結束範囲調整可能
引 締 方 法	ギヤ回転方式
ス ペ ア 部 品	テープガイドローラB（15mm用）、テープガイドローラC（12mm用）
付 属 品	ヤットコ1本
別 売 品	テープガイドローラ（24mm用、30mm用）

※梱包ケースの中には下記の部品が入っていますので開梱しましたら確認してください。

本体	1
サポート板ユニット	1
テーブル（テーブルプレートとセットになっています）	1
+ナベ小ネジ5×10.....	4
テープ案内板B	1
テープガイドローラB（テープ巾15mm用）	1
テープガイドローラC（テープ巾12mm用）	1
ヤットコ	1

4 組立手順

⚠ 警告

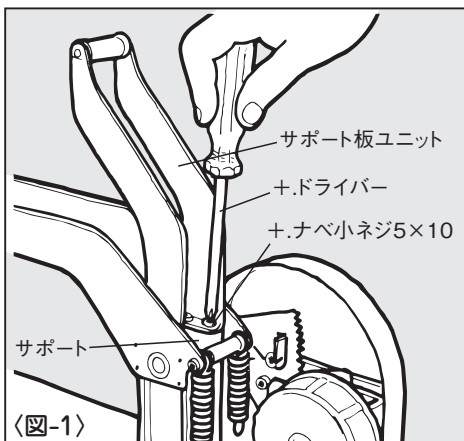
●組立は分解見取図を参照し、必ず説明通りの組立を行なう。

※分解見取図は16ページにあります。

【サポート板ユニットの取付け】

サポート板ユニットを図の向きにしてサポートの上にのせ、サポート板ユニットの穴とサポートの穴をあわせ＋ナベ小ネジを使い、＋ドライバーで4ヶ所をしっかりと締め付けます。

〈図-1〉

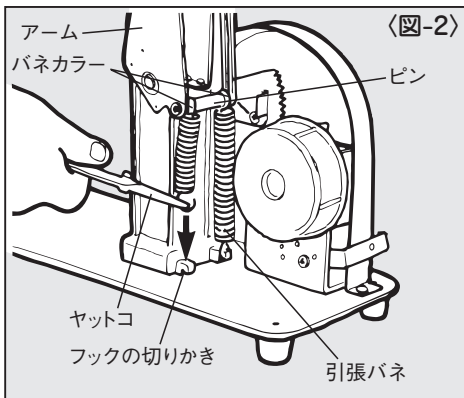


【引張バネの取付け】

アーム後方に付いている2本の引張バネを付属のヤットコを使い、フックの切りかきに引掛けます。

〈図-2〉

※バネを引掛ける時、グリップをいっぱいまで押し上げてアームユニットを垂直な状態にすると、スムーズに引掛けられます。バネカラーからバネがはずれている場合はバネのフックをバネカラーにかけてください。



5 ご使用の前に

⚠ 警告

- アームユニット頭部に指を絶対に入れない。

⚠ 注意

- 結束の際、グリップは静かにおろす。
- ギヤカバー内のギヤ部には絶対に注油しない。
故障の原因となります。(注油については「8.性能を維持するために」参照)
- 作業終了時にはテープを必ず巻き取る。
- 作業終了時には必ず本機を清掃する。

本機はテープ巾20mm用にセットしてありますので、テープ巾20mmをご使用になる場合にはそのままお使いください。

それ以外のテープの巾をご使用になる時は、下記の要領でテープガイドローラの交換とテープ案内板の交換をお願いいたします。

【テープガイドローラの交換】

スナップピンを取りはずし、テープガイドピンを抜き取るとテープガイドローラがはずれます。お使いになるテープガイドローラを入れ、確実にセットします。〈図-3〉

〈テープ巾15mm使用時〉

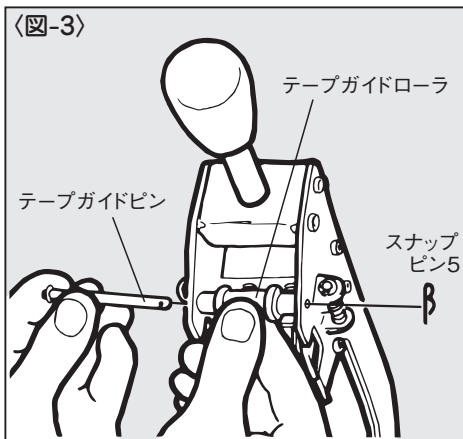
付属のテープガイドローラBに交換してください。

〈テープ巾12mm使用時〉

付属のテープガイドローラCに交換してください。

〈テープ巾24mm、30mm使用時〉

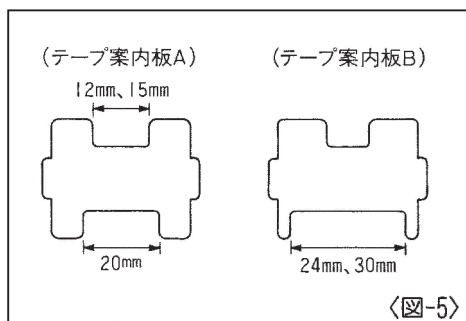
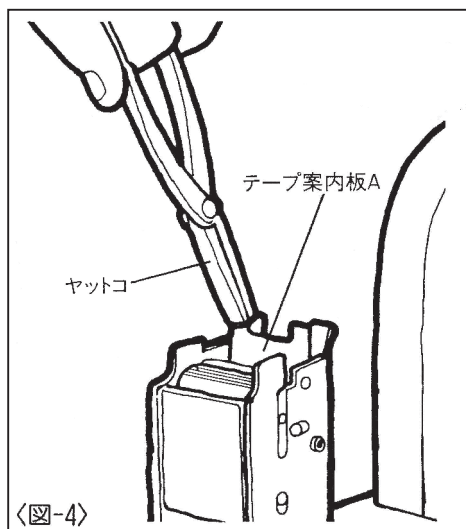
特注テープ（巾24mm、30mm）用のテープガイドローラは、別売となっておりますので、お買い求めの販売店でご購入ください。



【テープ案内板の交換】

使用するテープの巾にあわせてテープ案内板を交換してください。交換はスタンドに差し込んである案内板Aをヤットコで抜き取り、ご使用になる案内板をスタンドに差し込みます。

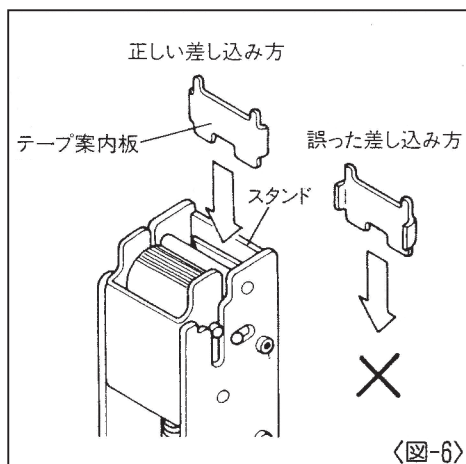
〈図-4〉〈図-5〉



【テープ案内板の差し込み方】

テープ案内板を差し込む際、折り曲げ方向をよく確かめ、案内板とスタンドとの間にすき間ができるように図の向きに差し込んでください。案内板の上面がスタンド上面と面一になる位置まで平行に押し込んでください。

〈図-6〉



6 使用方法

(1) 準備

⚠ 警告



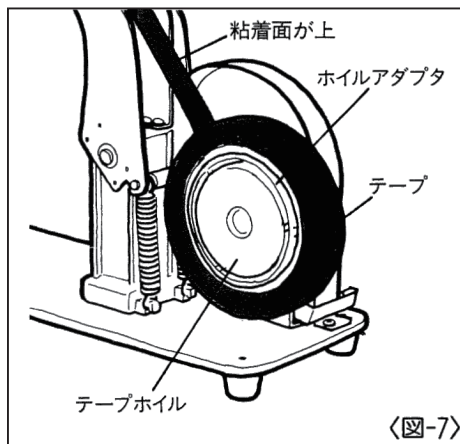
●アームユニット頭部とスタンドユニット上部の間に絶対に手を入れない。

【テープの入れ方】

★テープ紙管90mmを使用する場合

テープを引き出した時、粘着面が上になるようにしてテープをホイルアダプタの一番奥まで入れます。

〈図-7〉

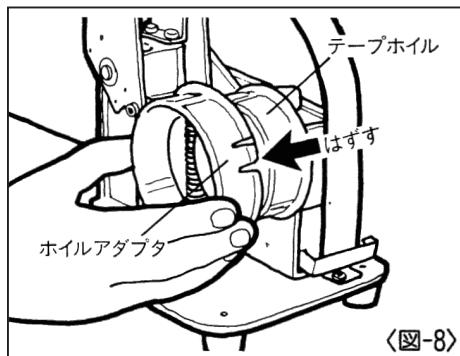


〈図-7〉

★テープ紙管75mmを使用する場合

ホイルアダプタをはずし、粘着面が上になるようにしてテープをテープホイルの一番奥まで入れます。

〈図-8〉

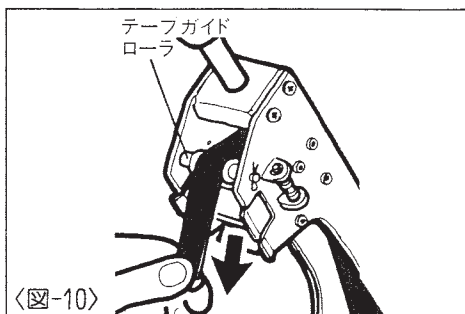
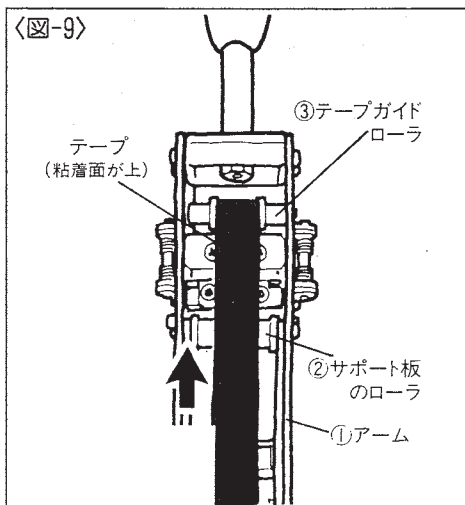


〈図-8〉

【テープの通し方】

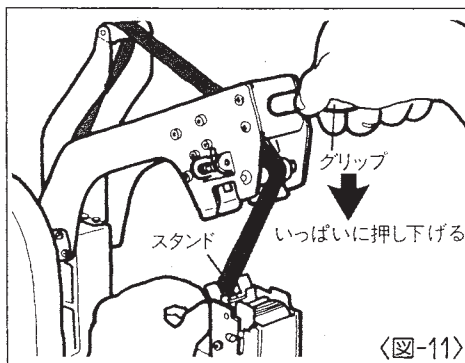
- ①テープの先端を持ち、①アームの間、②サポート板上のローラ、③テープガイドローラの中を通し、引き出します。

〈図-9〉〈図-10〉



- ②手に持ったテープの先端をスタンドの内側に入れ、テープをはなさないようにしてグリップをいっぱいに押し下げます。

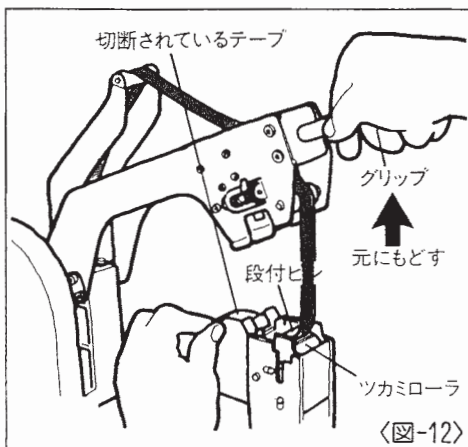
〈図-11〉



③グリップを元にもどすとテープはツカミローラと段付ピンの間にはさみ込まれます。なお、左手で持っているテープは切断されますので、取り除いてください。

〈図-12〉

※万ーテープがはさみ込まれない場合には、再度②の動作をくり返し行ってください。

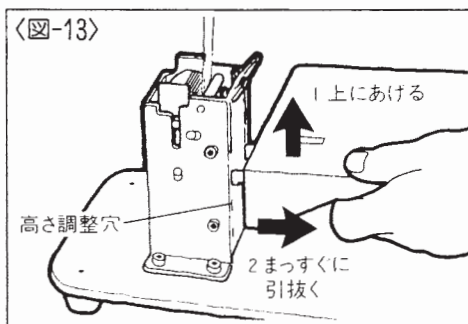


【テーブルの高さ調整】

本機のテーブルは上から2番目の穴にセットしてありますが、結束物の大きさにより3段階に調整できます。

テーブルを上を持ち上げてはずし、ご希望の高さ調整穴に入れます。

〈図-13〉

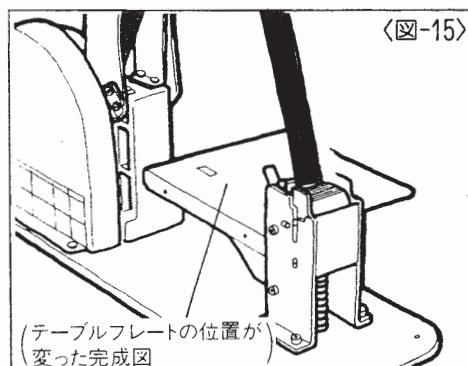
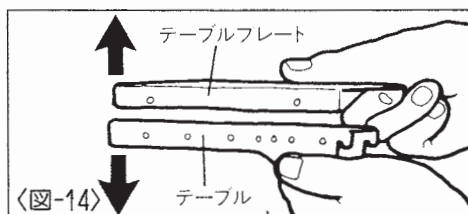


【テーブルプレートの使い方】

本機のテーブルプレートは、結束物の状況に合わせ、プレートの方向を変えたり、取り外してご使用いただけます。

テーブルプレートとテーブルを図のようにはずし、テーブルプレートの方向を変えてテーブルに組み込みます。

〈図-14〉〈図-15〉



(2) 結束

⚠ 警告



- ギヤカバーの中に絶対に手を入れない。
- アームユニットL・Rとサポート板ユニットの間に絶対に手を入れない。
- アームユニット頭部とスタンドユニット上部の間に絶対に手を入れない。

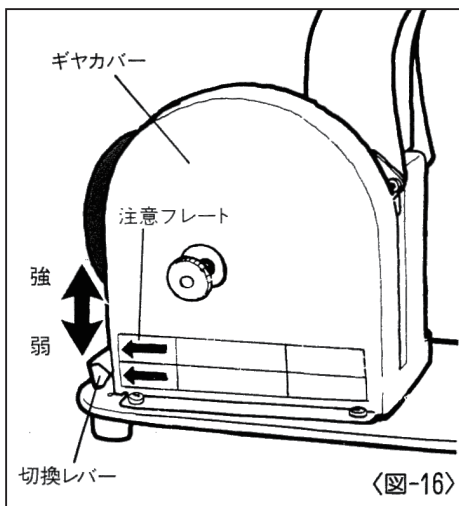
【締付切換レバーのセット】

★ほうれん草、こまつ菜等軟弱野菜をやわらかく結束したい場合は、ギヤカバー後方の切換レバーの矢印を注意プレートの矢印に合うところまで下げます。

〈図-16〉

★アスパラ、カブ、花卉等をきつく結束したい場合は、ギヤカバー後方の切換レバーの矢印を注意プレートの矢印に合うところまで上げます。テープホイールがストップし、強力締めができます。

〈図-16〉



〈図-16〉

⚠ 警告

- 結束中グリップを完全にもどさないで切換レバーを上下させない。
本機に無理が生じ、締付力不足の原因となります。

【テープ引締力の調整】

結束物の引締がゆるかったり、きつかったりした場合は、調整ネジで調整してください。

ギヤカバーについている調整ネジは右へ回すと張りが強くなり、左へ回すと張りが弱くなります。

〈図-17〉

※強締めの場合には、調整ネジでの引締力調整はできません。調整ネジは中のピンオン軸と面一になるようにしてください。



〈図-17〉

【結束物の入れ方】

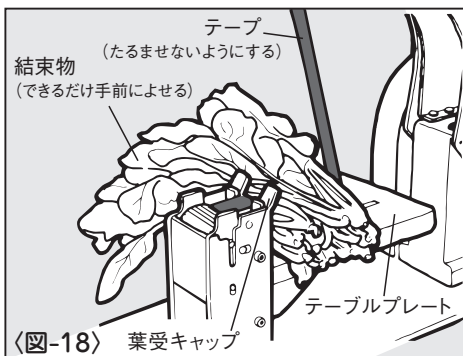
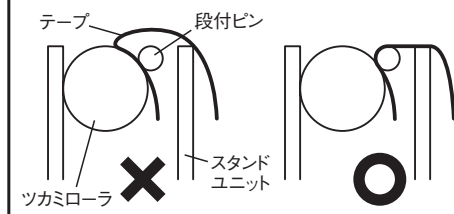
⚠ 注意

- 結束物を入れる時、結束物の高さが必ず葉受けキャップの下になるように置く。
葉受けキャップより上になりますと結束物にキズが付きます。
- テープをたるませないようにして奥まで差し込まず、できるだけ手前に寄せる。
テープをたるませると結束力が弱まり、しっかり結束されません。

結束物を図のようにテーププレートの上に
乗せます。 〈図-18〉

⚠ 注意

- テープがツカミローラに貼り付かないようピンと張る。ツカミローラにテープが貼り付いていると結束後ののりしろが出にくくなります。



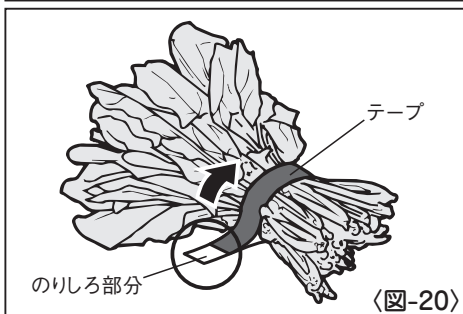
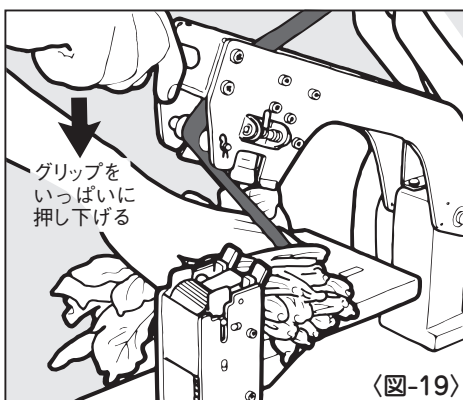
【結束】

- ①位置が決まったらグリップを一杯に押し下げてください。テープの粘着面どうしがくっつき結束されます。 〈図-19〉

⚠ 警告

- グリップを押し下げる際、アームユニット頭部とスタンドユニット上部の間に絶対に指や手を入れない。

- ②グリップを元に戻し結束物を抜き取り、テープののりしろ部分を貼り付けると結束完了です。 〈図-20〉



⚠ 警告



●ギザ刃の交換には、必ずヤットコを使用する。

交換についてはヤットコを使用し、十分に注意をして行なってください。

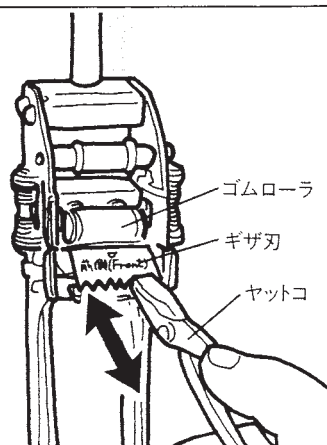
テープの切断面がきたなくなったり、切断しなくなりましたら新しいギザ刃と交換してください。

①テープを抜き取り、グリップとベースを持ってギザ刃がよく見える位置にします。

②ギザ刃を圧着板とゴムローラの間よりヤットコで抜き取り、新しいギザ刃の刃先をキズ付けないようにまっすぐつき当りまで押し込みます。その際、ギザ刃の<前側(Front)>刻印が見えるようにして押し込みます。

〈図-21〉

〈図-21〉



⚠ 注意

●交換用のギザ刃は必ず指定のものを使用する。

本機をお買い上げの販売店で、おびまる用ギザ刃とご指定の上お買い求めください。

8 性能を維持するために

① 本機を必ず洗淨する。

使用後、ヤサイクズやゴミ・ホコリを取り除き、乾いたタオル等でカラぶきしてください。

また、本機の性能を維持するために右図の矢印の場所に時々注油してください。なお、油はミシン油または軟らかめのグリスをお使いになり、流れたり、たれたりしないよう少量付けてください。

〈図-22〉 〈図-23〉 〈図-24〉 〈図-25〉

② 指定の消耗品を必ず使用する。

指定されたテープと異なるものを使用すると、本機の故障や事故の原因となりますので、必ず指定のテープをご使用ください。(5ページ参照) 〈図-26〉

③ 定期的にギザ刃を交換する。

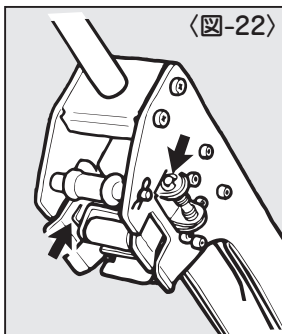
テープの切断面がきたなくなったり、切断しなくなりましたら新しいギザ刃と交換してください。切れの悪いまま使用すると、機械に余分な負担がかかり、故障の原因となります。

※交換については14ページ「7.ギザ刃の交換」を参照してください。

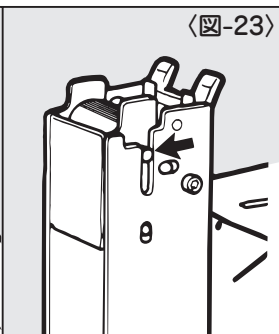
④ 異常を感じたら絶対に使用しない。

本機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。

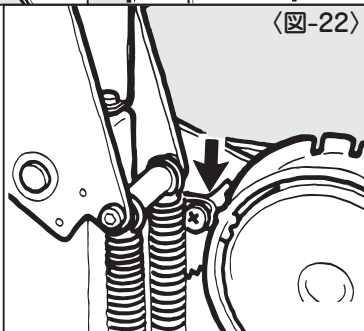
異常のある場合は、無理に使用せず、お買い求めの販売店、またはマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)に点検・修理に出してください。



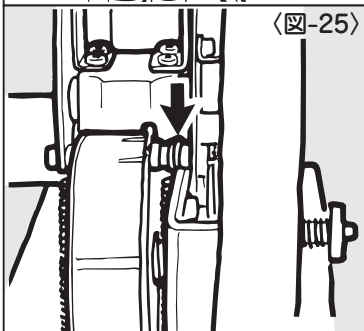
〈図-22〉



〈図-23〉



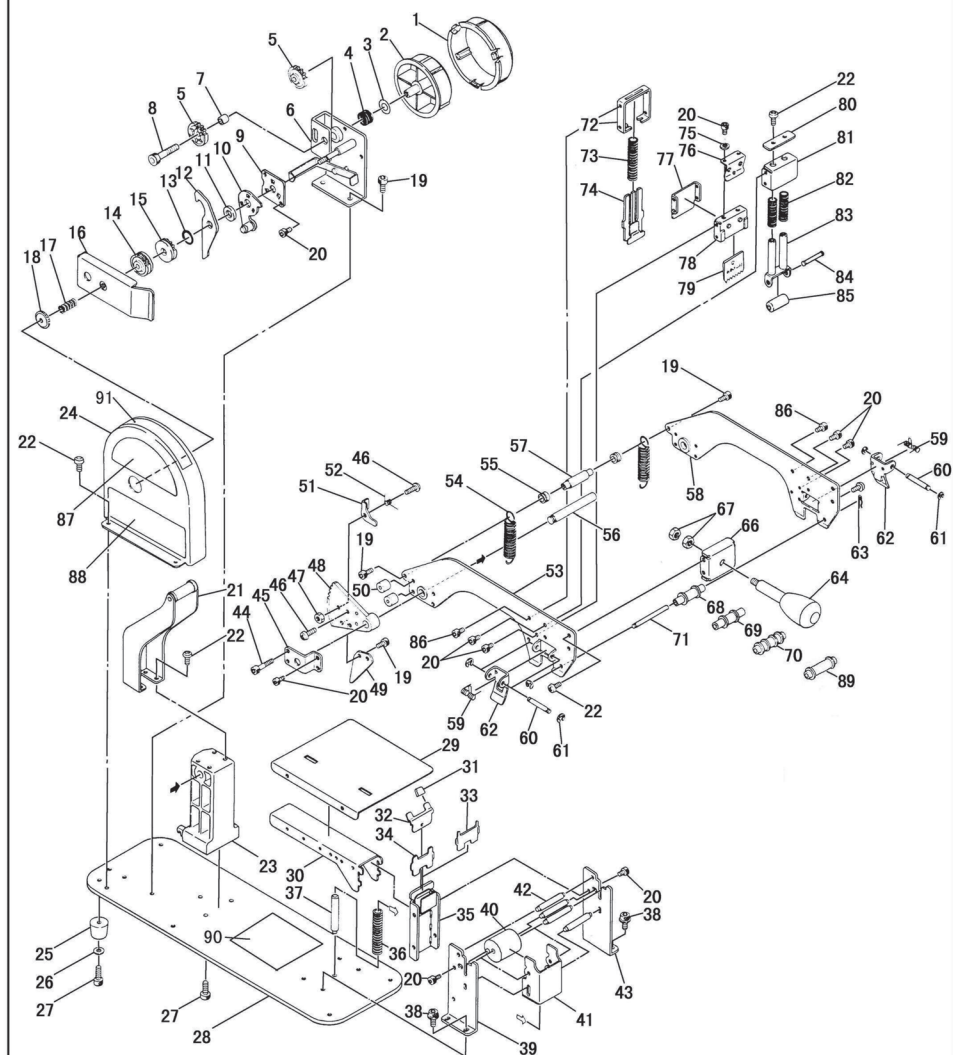
〈図-24〉



〈図-25〉



〈図-26〉



索引 番号	商品記号	部品名	索引 番号	商品記号	部品名	索引 番号	商品記号	部品名
1	HT10400	ホイルアダプタ	32	HT10431	葉受板	63	FF60002	スナップピン5
2	HT10460	テープホイル	33	HT10339	テープ案内板B	64	HT10475	グリップユニット
3	EE39701	特平座金10.3	34	HT10338	テープ案内板A	66	HT10364	グリップ支工板
4	KK24017	圧縮バネ4017	35	HT10334	スタンドユニット	67	CC41105	六角ナット 1-8
5	HT10456	ピニオンA	36	KK24013	圧縮バネ4013	68	HT10433	テープガイドローラA(20mm用)
6	HT10443	ホイル台ユニット	37	HT10342	ガイド棒	69	HT10434	テープガイドローラB(15mm用)
7	HT10459	ピニオンカラー	38	BB49406	六角穴付ボルト5×10	70	HT10435	テープガイドローラC(12mm用)
8	BB40438	六角穴付ボルト6×32	39	HT10332	スタンドL	71	HT10436	テープガイドピン
9	HT10384	クラッチ固定板	40	HT10341	ツカミローラ	72	HT10349	圧着板ガイド
10	HT10449	クラッチ板ユニット	41	HT10340	ツカミローラ軸受	73	KK24012	圧縮バネ4012
11	HT10452	クラッチカラー	42	FF45136	ダンツケピン5136	74	HT10401	圧着板ユニット
12	HT10453	フックプレート	43	HT10333	スタンドR	75	EE11103	バネ座金2-4
13	HH11111	オリング1種A P14	44	BB40451	六角穴付ボルト4×22	76	HT10353	カッタ板バネ
14	HT10454	ピニオンA ユニット	45	HT10377	ギヤ固定板	77	HT10432	テープ押板
15	HT10458	ピニオンB ユニット	46	AA25202	＋バインド小ネジ5×15	78	HT10351	カッタホルダユニット
16	HT10462	テンション解除板	47	CC41101	六角ナット1-5	79		ギザ刃
17	KK24174	アッシュクバネ4174	48	HT10374	ギヤ	80	HT10360	座板
18	HT10393	調節ネジ	49	HT10376	クラッチ解除板	81	HT10359	軸受
19	BB40415	六角穴付ボルト5×10	50	HT10373	カラー	82	KK24011	圧縮バネ4011
20	BB40448	六角穴付ボルト4×6	51	HT10442	ツメ	83	HT10355	ローラ軸受ユニット
21	HT10437	サポート板ユニット	52	KK34010	振りコイルバネ4010	84	HT10358	ローラピン
22	AA21118	＋バインドコネジ5×8	53	HT10344	アームユニットL	85	HT10116	ゴムローラ
23	HT10469	サポート	54	KK14061	ヒッパリバネ4061	86	BB40427	六角穴付ボルト4×8
24	HT10464	ギヤカバーユニット	55	HT10372	バネカラー	87	HT10465	ネームプレートA
25	HT10394	足ゴム	56	HT10370	アーム軸	88	HT10466	ネームプレートB
26	EE31102	平座金1-5	57	HT10371	バネ掛ピン	90	HT10477	警告シール
27	BB40404	六角穴付ボルト5×16	58	HT10346	アームユニットR	91	HT11466	注意シール
28	HT10468	ベースユニット	59	KK34009	振りコイルバネ4009	※		テープガイドローラ(24mm用)
29	HT10463	テーブルプレート	60	FF30260	平行ピン260	※		テープガイドローラ(30mm用)
30	HT10395	テーブル	61	JJ10101	Etメワ4			
31	HT10467	葉受けキャップ	62	HT10361	バネ出し板			

※別売品

●マックスお客様ご相談ダイヤル

0120-228-358

『ナンバーディスプレイ』を利用しています。

マックス株式会社

●販売拠点等

本 社 ・ A F 営 業 部	〒103-8502	東京都中央区日本橋箱崎町6-6	TEL (03) 3669-8138
札 幌 支 店	〒060-0041	北海道札幌市中央区大通東6-12-8	TEL (011) 261-7141
仙 台 支 店	〒984-0015	宮城県仙台市若林区卸町5-3-4	TEL (022) 236-4121
東 京 支 店	〒103-8502	東京都中央区日本橋箱崎町6-6	TEL (03) 3669-8101
群 馬 営 業 所	〒370-0031	群馬県高崎市上大類町412	TEL (027) 353-7075
名 古 屋 支 店	〒462-0819	愛知県名古屋市北区平安2-4-87	TEL (052) 918-8619
大 阪 支 店	〒553-0004	大阪府大阪市福島区玉川1-3-18	TEL (06) 6444-2077
広 島 支 店	〒733-0035	広島県広島市西区南観音7-11-24	TEL (082) 291-6331
福 岡 支 店	〒812-0006	福岡県福岡市博多区上牟田1丁目5-1	TEL (092) 411-5416
マックス販売(株) 四国営業所	〒761-8056	香川県高松市上天神町761-3	TEL (087) 866-5599

●マックスエンジニアリングサービス(株)

札 幌サービスステーション	〒060-0041	北海道札幌市中央区大通東6-12-8	TEL (011) 231-6487
仙 台サービスステーション	〒984-0015	宮城県仙台市若林区卸町5-3-4	TEL (022) 237-0778
高 崎サービスステーション	〒370-0031	群馬県高崎市上大類町412	TEL (027) 350-7820
名古屋サービスステーション	〒462-0819	愛知県名古屋市北区平安2-4-87	TEL (052) 918-8624
大 阪サービスステーション	〒553-0004	大阪府大阪市福島区玉川1-3-18	TEL (06) 6446-0815
広 島サービスステーション	〒733-0035	広島県広島市西区南観音7-11-24	TEL (082) 291-5670
福 岡サービスステーション	〒812-0006	福岡県福岡市博多区上牟田1丁目5-1	TEL (092) 451-6430

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

3055230
250817-01/06

